

日常診療を変えるエビデンスを皆様へ。

日頃より「今日の臨床サポート」をご愛顧いただき、ありがとうございます。

2024年12月に改訂された臨床レビューの中から、日常診療に大きく影響を与えるようなエビデンスをご紹介します。

肺高血圧症	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで「肺性心」として扱ってきた項目を新たに「肺高血圧症」に変更して解説した。 ・肺性心とは、「肺、肺血管または肺のガス交換を一次的に障害して肺高血圧を引き起こす疾患により、右室肥大あるいは右室不全を生じた状態」と定義されるため、左心疾患に伴う肺高血圧症は肺性心に含まれないが、本稿では左心疾患に伴う肺高血圧症も含めて解説した。詳細は臨床レビューを参照いただきたい。 ・2021年にEuropean Society of Cardiology (ESC) / European Respiratory Society (ERS) の肺高血圧症の診断と治療ガイドラインが改訂された。今後わが国のガイドラインにおいてもこれに合わせて診断基準が変更になる見込みである。 ・2024年9月24日、マシテンタン・タダラフィルの配合剤（ユバンシ配合錠）が承認された。
B型肝炎（治療）	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の情報に基づいてコンテンツを見直し、改訂を行った。 ・核酸アナログの第一選択であるTAF（ベムリディ）の薬剤耐性に関する情報を更新した。最近の日本を含めた国外臨床研究をまとめた報告では、5年間のTAF投与において3%の症例で治療抵抗性を示したが、薬剤耐性変異の出現は認められなかったと報告されている（Chan HLY, et al. Am J Gastroenterol. 2023 Aug 10;119(3):486-96.）。
ST上昇型心筋梗塞（STEMI）	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の情報に基づいてコンテンツを見直し、改訂を行った。 ・急性心筋梗塞発症直後は、LDLコレステロールが低下する。そのため、過小評価されることがあることに注意する。急性冠症候群患者を含む虚血性心疾患患者では、世界的に見てもLDLコレステロール目標値が下がってきている。 ・近年のトピックとして、STEMI 責任血管以外にも有意狭窄があった場合に、primary PCIの際に同時に血行再建を行うかが検討されている。 <ul style="list-style-type: none"> ▶最新の研究としてFULL REVASC（Böhm F, et al. N Engl J Med. 2024 Apr 25;390(16):1481-1492.）、MULTISTARS AMI（Stähli BE, et al. N Engl J Med. 2023 Oct 12;389(15):1368-1379.）などがある。 ▶メタ解析（Maqsood MH, et al. Circ Cardiovasc Interv. 2024;17:e013737）でも、primary PCI施行時に一期的に治療する群がstagedで施行するよりもイベント発生率が少ないと報告されている。しかしながら、心筋梗塞のエンドポイントにおいて、一期的血行再建と比較した場合にstaged症例ではperi-procedural myocardial injuryがMIとして判断されるため、統計処理として不利な状況となることを含めて考えないといけないことに注意する。
本態性高血圧症	<ul style="list-style-type: none"> ・『欧州高血圧学会ガイドライン2023』に基づき改訂を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ▶大きな変化は、ABPMによる夜間高血圧の評価が、Class Iで推奨されている点である。夜間血圧は昼間の血圧や診察室血圧に比べ、動脈硬化性心血管疾患や心不全のより強いリスクになっていることが明確にエビデンスで示されていること（Staplin N, et al. Lancet. 2023 Jun 17;401(10393):2041-2050.、Kario K, et al. Circulation. 2020 Nov 10;142(19):1810-1820.）が理由である。 ▶また、同ガイドラインでは、経カテーテル腎デナベーションがClass IIで推奨された。我が国でも申請が予定されている。 ・わが国で世界初の高血圧のデジタル治療（アプリ治療）による早朝血圧の低下が示され（Kario K, et al. Eur Heart J. 2021 Oct 21;42(40):4111-4122.）、2022年より保険収載がなされている（Kario K, et al. Hypertens Res. 2022 Dec;45(12):1899-1905.、Kario K, et al. Hypertension. 2022 Oct;79(10):2148-2158.）。 ・2025年には日本高血圧学会のガイドラインが発表される。

『今日の臨床サポート』とは

エビデンスに基づく日本語によるリファレンスツールです。約1,430の疾患・症状概要、診断・治療方針などをご覧になることができます。ジェネリックを含む薬剤情報、疾患・症状の患者向け説明資料、インターネット版ではPubMedへのリンクもご用意しています。

QRコードまたはURLからアクセスできます。イントラ版をご契約の施設では、院内端末からログインなしでご覧になることができます。



<https://clinicalsup.jp/jpoc/>

ログインには、①ユーザー名、②パスワード、③施設コードが必要です。管理者の方にご確認ください。

最新エビデンスをタイムリーに受け取れます。ご登録はこちらから。

